

科目 No.	25
授業科目名 (英語表記)	中国経済入門 Economic Development in CHINA
授業の実施場所	帝京大学 地域経済学科棟
使用言語	日本語
単位数	2
開講日時	9月11日(火)～14日(金) (4コマ×4日) 9:20～16:30 (各日とも)
授業形態	講義
受講者数	最少10人～制限なし
担当教員	帝京大学経済学部地域経済学科講師 宋宇
開設大学	帝京大学
授業の内容	<p>本講義は中国経済または日中関係に関心を持っている方を主な対象としますが、必ずしも経済学部の学生や、中国経済に対し基礎知識を持っている学生と限りません。「入門」ですので、中国経済の現状を平易に解説することを目的としており、基礎から学ぶこととします。そして、本講義を通じて、中国経済に興味を持たれ、日中関係について感情的に語るのではなく、お互いの違いを理解し、メディアなどの解説を頼らず、自分なりに考え、問題を解析していくことを最大な狙いとしています。</p> <p>4日間のうち、基本的に最初の2日間は中国または中国経済について、学んでいきます。最後の2日間は日中関係について、最近のホット話題まで取り上げ、検討していきます。そして、毎回講義の後半では、人数に応じてグループごとに分けられ、ある問題・課題について討論し、グループの知恵で考えを深めていきたいと考えます。</p>
教科書・参考書・ 教材等	<p>教科書の指定は特にありません。下記の参考書に基づき講義内容を構成し、講義ノート配布します。毎回、講義ノートを持参するようにしてください。</p> <p>①南亮進・牧野文夫(編)(2016)『中国経済入門』第4版、日本評論社。</p> <p>②梶谷懐(2016)『日本と中国経済—相互交流と衝突の100年』ちくま新書。</p> <p>③丸川知雄(2013)『現代中国経済』有斐閣アルマ。</p>
成績評価	出席状況(30%)、講義中の課題完成度(40%)、小テスト(30%)で評価します。
学修上の助言	様々な情報(ネット、テレビなどを通じて)が流れている中、すぐにそのまま受け入れるのではなく、自分なりに考え、調べ、学び、問題を発見していくこと、日々心がけるようにとお勧めします。